

晴嵐館報

丙午 鶴壽千歳

あけましておめでとうございます



新春を迎え、皆さま健やかにお過ごしのことと存じます。世界の平穏、平和を切に願います。今年の年末ごろまでには、日本の書道がいよいよユネスコの無形文化遺産に登録される予定です。本報第44号でもふれましたが、書道の伝統文化の継承が期待されます。小中学校の書写も含んで、学校におきましても文字を書くことの大切さ、書道の芸術表現が音楽や美術にひとしく扱われることを念じています。

晴嵐館の今後の事業として、1月から中道書き初め展、2月に師範証授与式、文房四宝講習会、3月には指導セミナー、教室作品展、鍊成会、検定試験相談会を開催いたします。是非ご参加ください。

晴嵐館展示室では、3月25日まで企画展示「大池晴嵐の書～鳥獸虫魚を書く」を開催しています。3月27日からは春季特別展示「郷土の書家XII」を開催します。是非とも肉筆を間近にご覧ください。晴嵐館事業が書道を通じて学校書写書道教育の発展に寄与するとともに、書道が社会や経済の下支えになることができればと思います。

晴嵐館の維持運営は、寄附金と維持会費によります。歳月のたつのは早いもので、今年は晴嵐の没後50年を迎えます。何卒ご賛同下さいますよう今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

お知らせ

ご案内

- 晴嵐館展示室
- 中道書き初め展
- 師範証授与式、師範会
- 文房四宝講習会
- 書道指導セミナー
- 教室作品展
- 春季鍊成会、受験相談会
- 教室案内
- 作品研究会
- 書道催事支援事業
- 鍊心講堂の利用
- 展覧会お出かけガイド

事業報告

- 師範選抜書展
- 秋季鍊成会
- 書道教育講習会
- 秋季師範試験合格者
- 寄附者リスト

- 寄附金募集
- 会員募集

ご案内

晴嵐館展示室

企画展示

「大池晴嵐の書～鳥獸虫魚を書く」
3月25日まで 木曜休館 観覧料300円
晴嵐の肉筆を是非ご覧ください。

春季特別展示

「郷土の書家XII」

3月27日～4月8日 木曜休館
観覧料300円

中道書き初め展

書き初めを通じて、書道文化の普及と書写書道教育の発展に寄与するとともに、優れた作品・生徒を顕彰し、学生の書道技能ならびに指導者の指導技術向上をはかります。

会期 1月25日（日）午前10時～午後4時

会場 江南市民文化会館（名鉄江南駅下車東）
表彰式 1月25日 午後2時から 於同会館

江南市民文化会館 1階展示室
展示作品 漢字・かな・篆刻・こども学生書道

師範証授与式・師範会

日時 2月23日（月・祝）午前11時～
会場 江南市地域交流センター
(名鉄布袋駅東 複合公共施設1階)
本年度は漢字部4名、硬筆部2名の方が新しく
師範に合格されました。師範証授与式のあと、
新師範のご紹介をいたします。

文房四宝講習会

筆・墨・硯・紙などの書道用具や、書写書道全般にわたる実用的理論的な専門知識を得ることにより、書道を愛好する者のレベルアップをはかります。

日時 2月23日（月・祝）
午後1時～2時30分
会場 江南市地域交流センター（布袋駅東）
タイトル 「澄懷堂美術館の書画—明末清初の書人たち」
講師 澄懷堂美術館 主任学芸員 井後尚久氏
内容 三重県四日市市の澄懷堂美術館は、中国書画を多く蔵しています。なかでも、明末清初の長条幅作品は見ごたえがあります。鑑賞のポイントなどを交えてわかりやすく説明していただきます。
参加申込 2月6日まで どなたでも聴講できます。ただし、状況により人数を制限する場合があります。

令和7年度 書道指導セミナー

書道教室等での指導運営にあたり、技能的理論的技能を習得するため、研究の場を設けます。参加料は無料。申し込み不要。

日時 3月8日（日）午前11時～12時
場所 晴嵐館 錬心講堂
テーマ 手本を書く、常用漢字の字体字形について、その他
※毛筆・硬筆用具一式ご持参ください

教室作品展

教室における学習成果を発表し、書道を愛好する一般市民に作品を公開することで、書道教育・書道芸術の向上をはかります。
3月21日（土）午前10時～午後4時
22日（日）午前10時～午後4時

毛筆・硬筆 春季鍊成会

春期検定試験・師範試験を実施するにあたり、作品制作の実技指導をすることにより、合格ラインへのレベルアップをはかります。

日 時 3月29日（日）午後1時～3時
会 場 晴嵐館 錬心講堂
会 費 3,000円（硬筆・毛筆ともに受講可）
用 具 硬筆 ペン・ボールペン一式
毛筆 書道用具一式
☆毛筆の条幅は、作品を持参してください。

受験相談会

検定試験受験についてのご質問などをお伺いします。遠慮なくご相談ください。

日 時 3月29日（日）午後1時～3時
場所 晴嵐館 錬心講堂
相談料無料

教室案内（毛筆研究）

毎月第1・3・4土曜日 午前10時～12時
(都合により変更あり)
初心者から手ほどき 検定試験、展覧会作品の指導もいたします。
定員 15名（現在余裕あります）
指導 大池青岑氏
受講料 5000円／月（展示室観覧料含む）

教室案内（篆刻研究）

毎月第3月曜日 午前10時～12時（都合により変更あり）
印稿作りと刻法・印学を学習します。各自思い思いのことばを方寸の石印材に刻し、印章を仕上げます。
定員 15名（現在余裕あります）
講師 波多野公一氏（日展会友）
受講料 3000円／月（展示室観覧料含む）

謙慎書道展 作品研究会

謙慎展出品作品を2～3点お持ち寄りください。
1月11日（日）、25日（日）
午前11時～12時
新規ご出品には申し込みが必要です。晴嵐館までお申し出ください。

書道催事支援事業

地域における書道催事に対し、公益財団法人晴嵐館後援名義使用・晴嵐館賞賞状交付・催事案内公告等をおこないます。地域団体・グループの書道展覧会、個展、書道イベント等の催事を支援します。

1. 催事の各種印刷物への「後援公益財団法人晴嵐館」名義使用
2. 晴嵐館賞の賞状交付
3. 催事案内として内容を機関誌および晴嵐館ホームページに掲載
4. その他・・・詳しくはお尋ねください

鍊心講堂の利用

書道に関する研究会等の集会などにご利用ください。

収容人員 約40名まで

利用料金 1000円／時

詳しくは晴嵐館までお尋ねください。

展覧会お出かけガイド

道風記念館

館蔵品展「書の魅力」

2月15日まで

月曜休館

(電車) JR中央線「勝川」下車、タクシー10分

(車) 名二環上り線は「松河戸IC」から3分、下り線は「小幡IC」から5分

東京国立博物館 東洋館4階8室

連携企画

「明末清初の書画—乱世に見る夢—」

3月22日まで 月曜休館

JR「上野」下車

書道博物館

連携企画

「明末清初の書画

—八大山人 生誕400年記念—」

3月22日まで 月曜休館

JR「鶯谷」北口徒歩5分

成田山書道美術館

新春特別展「成田山の山水花鳥」

2月15日(日)まで

(1月13日、月曜 休館)

J R・京成成田駅下車タクシー

謙慎書道会「中国書画名品展Ⅱ」

セントラルミュージアム銀座（紙パルプ会館）

1月13日～18日

(JR) 「有楽町」下車

(東京メトロ) 「銀座」「銀座一丁目」下車

(都営浅草線) 「東銀座」下車

「第70回 現代書道20人展」

松坂屋美術館（名古屋 矢場町）

1月24日～2月1日

「第118回 日展 名古屋展2026」

愛知県美術館ギャラリー

1月28日～2月15日

(2月2日・2月9日 休館)

「謙慎書道会展」

東京都美術館

3月18日～23日

「謙慎書道会中部展」

愛知県美術館ギャラリー

3月31日～4月5日

事業報告

第50回 師範選抜書展

令和7年9月9～14日

名古屋市民ギャラリー栄

入場者数 503名

出品者【新師範】赤星白峰、金子桂霞、葛谷麗泉、近藤栄華、下井孝広、溝口照美、山川有響（以上7名）【委員】大池青岑、倉田朝華、寺田小華、浪打靄舟、新家峰石、新田双桃、舟木樸風（以上7名）【師範】安藤雅子、伊藤秀英、宇佐美吉恵、梅本千寿、太田彩泉、金澤秀鶯、金津宗俊、加原容子、川崎尚華、川村紅葉、川本晴耀、菊池知佳、木村彩華、清須翠峰、小林伶奈、酒井紅水、下無敷蒼玉、鈴木雨道、鈴木希代美、千田京華、園田三輪子、高井千晴、滝川祥苑、多気靖岱、武山春雪、館鈴水、田村梅香、中嶋さつき、永戸溪水、仲村春水、新家雲峰、西小野里胱、野村繁子、福山仁雅、藤原清泉、北條瑠光、堀渕桂花、松岡華泉、松崎朱實、松原映翠、溝口彩華、三谷小京、三井吟龍、宮耀華、安田加奈、山内香霖、山本映月、山本紬衣、油井恵子、和田吟佳、和田吟水（以上51名）（敬称略）

秋季書芸中道・硬筆中道鍊成会

令和7年10月10日（金）

秋期検定試験・師範試験を実施するにあたり、作品制作の実技指導をすることにより、合格ラインへのレベルアップをはかりました。参加者6名

書道教育講習会

令和7年10月10日（金）

「かなへのいざない3」

講師 日展会友 山本雅月氏

かな連綿や散らし書きの形式など、かな書道の楽しみ方を学びました。参加者8名

令和7年度秋季 師範合格者

次の4名の方が新しく師範に合格されました。今後は指導者として、芸術活動、後進の指導にさらにご活躍されますよう願います。

【毛筆漢字】菊池知佳、中嶋さつき、馬場美舟、山本英穎（敬称略）

寄附者リスト（寄附順）

令和7年4月1日～12月31日まで

滝静江様、阿部祥蓮様、中井治泉様、寺田小華様、師範（10名）様

この度はご寄附を賜り、誠に有難うございます。寄附規定にございますように、3分の1以上は公益目的事業に使わせていただきますとともに、施設設備補修の費用に充てさせていただきます。

第13期寄附金募集

各種事業遂行のため、皆様方からのご芳志をお願い申し上げます。

寄附金の振込先

郵便振替口座 00850-1-45233 晴嵐館まで

※晴嵐館へ寄附されると、確定申告時に所得控除を受けることができます。「寄附金受領書」と「寄附控除に係る証明書」は、年明けにお渡しいたします。詳しくは税務署または税理士にお尋ねください。

令和7年度、会員募集（新規・継続）

- 維持員会費、年額1口 12,000円（晴嵐館の目的・事業に賛同する個人）
- 賛助員会費、年額1口 10,000円（晴嵐館の事業に賛助する個人または書道関連団体）

※会費の3分の1以上を公益目的の事業に使用します。

晴嵐館の目的および事業（定款より抜粋）

（目的）この法人は、書家大池晴嵐の作品を始めとする書道作品及び大池晴嵐の作品制作の場となった庭園を公開・開放するとともに、書道芸術及び書道教育に関する事業を行うことにより、書道文化の振興及び書道教育の発展に寄与することを目的とする。

（事業）第4条この法人は、前条の目的を達成するため、次の公益目的事業を行う。

- ① 書道作品等の収集・展示及び庭園の公開に関する事業
- ② 書道に関する講習会、展覧会その他書道教育に関する事業

名誉顧問（敬称略）

大池 廣

特別維持員（高額寄附者・敬称略）

江良昭雄

役員（○=代表理事○=業務執行理事）

評議員	佐藤孝憲	佐分力夫	田島毓堂
	野木森雅郁	長谷川正則	波多野美也
	日比野和代	牧野圭佑	森 邦明
	安田文吉	山田茂美	
理事	○大池茂樹	加藤三紀彦	千田道弘
	滝 尚文	○松川良治	
監事	片山泰宏	山内康男	

晴嵐館情報QRコード



ホームページ・メールアドレス・住所・地図が登録できます。

この館報のバックナンバーは晴嵐館ホームページでご覧ください。

せい らん かん
晴 嵐 館

書道の美術館 公益財団法人

〒483-8187 愛知県江南市大海道町青木22番地

TEL 0587-56-3170 FAX 0587-56-3174

Eメール info@seirankan.blush.jp

mail@seirankan.blush.jp

ホームページ <http://seirankan.blush.jp>